



## 【取組内容】

- 様々な理由で不要となりながらも手放せなかった古着を回収し、開発途上国にて安価でリユース。さらに、専用回収キット1つ購入するごとに、購入代金から5人分のポリオワクチンが寄付される取組。
- 古着を専用回収キットに詰めて集荷に来てもらうだけで、片づけと社会貢献ができる取り組みやすさで、次に誰かが着てくれるため、ただ捨ててしまうことに罪悪感のあるユーザーの意識変容を促進。
- 集まった衣類は開発途上国に送られ、現地で安価で販売されるため、現地にビジネスと雇用を創出。
- 専用回収キットの封入・発送作業を福祉作業所に依頼することで、障がい者の活躍の場を創出。

## SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性	古着を捨てるのではなく役立つように手放す仕組みであり、環境にも優しく、衣類の活用方法のロールモデルとなる。
包摂性	福祉作業所で専用回収キットの封入・発送作業を行うとともに、再販売される国で選別・販売にあたる現地雇用を創出。
参画型	家庭でも企業でも簡単にできる仕組みで、古着の処分を通じて意識変容を促し、気軽に社会貢献ができる。
統合性	寄付ではなく、企業がビジネスとして回収、再販売を実施することで、持続的にサービスを提供、継続的な支援に繋がる。
透明性と説明責任	毎月の寄付人数と衣類の着数を報告。寄付されたワクチン活用の様子を現地で確認し、ユーザーに発信。

